

授業アンケート集計結果【理科】

附属中学校 教務部

対象 令和5年度 1J生徒(283名)
2J生徒(294名)
3J生徒(283名)

《アンケート項目》

- 1 毎回の授業の目標が明確に伝わっている。
- 2 声の大きさや話すスピードはちょうど良い。
- 3 白板(スライドを含む)はわかりやすく工夫されている。
- 4 宿題(課題)の量や内容はちょうど良い。
- 5 授業の進み方や内容(難易度)はちょうど良い。
- 6 授業によって興味・関心がわき、自ら学びたいと感じた。
- 7 授業内容に満足している。

《回答》 A: そう思う

B: ややそう思う

C: あまりそう思わない

D: そう思わない

* 「国語Ⅰ」「国語Ⅱ」、「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」のように、教科内で科目が分かれ、担当者が別の場合は、各担当者ごとにアンケートを実施し、その回答の合計によって割合を算出した。

《教科のコメント》

すべての項目で、「そう思う・ややそう思う」が8割を超えており、理科教員の日頃の教育活動に一定の評価が得られていると感じています。ただ、学年が上がると全体的に、「そう思わない・あまりそう思わない」と答える生徒の割合が上がる傾向にあり、高学年になっても理科に興味関心を持って取り組んでもらえる努力が必要だとも感じています。前年度はコロナ対策のため対面での実験ができませんでしたが、令和4年度は実験・実習を再開することができました。仮説・実験・結果・考察を通して、自ら考え、より深い学びにつなげることができているように、理科の取り組みの一つとして、本物を見る・触れる機会を増やし、科学する心を育てていきたいと思ひます。また今後も、より良い授業ができるように授業研究に取り組んでいきたいと思ひます。

